

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	佐賀県多久市			代表者名	香月 正則
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	商工観光課	連絡先電話番号	0952-75-2117
担当者役職	商工観光係 係長	担当者氏名	吉永早苗	連絡先E-mail	
住所	846-0002 佐賀県多久市北多久町大字小侍7番地1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	ICT周遊型・高付加価値観光コンテンツ開発の支援事業		
概要	多久市における、ICTを活用した市内周遊型のイマーシブ体験コンテンツの企画・開発する。本事業は、儒学の聖地として知られる多久聖廟や、地域交流拠点「あいぱれっと」、さらに西溪公園や市内商店街などを舞台とした没入型の仕組みを導入することで、観光客の回遊性を高め、滞在時間の延伸と地域経済への波及効果を図ることを目的とする。				
支援を求める分野	計画策定支援 地域ビジネス 観光				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	240K	令和8年2月23日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月26日	講演&フォローアップ(実地)	14時00分	22時00分	
			活動時間（分）	420	
2-2. 派遣場所	会場名	市役所会議室		最寄駅	中多久駅
	所在地	〒846-0002 佐賀県多久市北多久町大字小侍7-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	前日に続き、タクア・多久駅前商店街・炭鉱跡地・ときわ旅館等を視察いただいた後、市役所にて事業全体の企画内容・周遊スポット・進め方・スケジュールについて腰を据えたディスカッションを実施いただいた。また富永ポンド様との打合せにより、地域側の視点からの意見を取り込んだ計画立案が進んだ。議会調整を見据えた現実的な助言も得られ、事業化に向けた具体的な道筋が示された。
アドバイザーへの要望事項	議会調整に向けた資料づくりや予算積算のポイントについて、引き続きご助言いただけますと幸いです。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	5人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	2	0	3	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	事業化に向けては、関係者間での企画内容の共通認識形成と議会への説明・予算確保が必要である。また周遊スポットの選定や動線設計、スケジュール策定など、実務的な計画を具体化する段階に入っており、庁内合意形成を並行して進める必要がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	企画概要・周遊スポット・スケジュール・推進体制を整理した事業計画書の骨子を策定し、議会調整および令和8年度予算化に向けた庁内合意形成の基盤を整える。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	令和8年2月23日に実施。タクア・多久駅前商店街・炭鉱跡地・ときわ旅館等の現地視察の後、市役所にて企画内容・周遊スポット・進め方・スケジュール等についてディスカッションを実施。あわせて富永ボンド様との打合せを行い、議会調整に向けた進め方について助言を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	事業の企画概要と周遊スポットの全体像が関係者間で共有され、スケジュールおよび進め方の方向性が固まった。議会調整を見据えた説明の論点も整理され、令和8年度予算化に向けた庁内の合意形成プロセスを具体的に検討できるようになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
	市役所での打合せを通じ、事業計画の骨子となる企画内容・周遊ルート・推進スケジュールを整理した。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	議会への説明資料の作成および予算規模の確定は引き続き課題。また、各周遊スポットにおける運営体制や地域事業者との正式な連携合意についても今後の協議が必要である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	今回の視察・打合せにはアンケートは未実施。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	令和8年度予算に多久市内を舞台とした周遊型マダーミステリー商品の開発費を計上し、観光協会・地域おこし協力隊・地元事業者との協働体制を構築する。2回目派遣においてシナリオ設計・動線設計の具体的な支援を受け、令和8年3月末までに事業計画書を策定する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	令和8年度予算案の議会説明に向け、事業計画書を策定する。観光協会・富永ボンド様・ときわ旅館等の関係者と連携しながら、周遊型マダーミステリーの事業スキームを確定させる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

